

羽根岬の予備知識

■浜木綿(はまゆう)

このあたり一面には浜木綿が自生しています。夏の初めの開花期には浜辺は真白い花が咲き乱れ、南国情緒をかもし出しています。

ヒガンバナ科の常緑多年草。暖地の海岸の砂浜に生え、栽培もされる。葉は肉質で根生し、オモトの葉に似る。夏、高さ約 70 センチメートルの太い花茎の先に香りのよい白花を十数個開く。花被片は細長くそり返る。ハマオモト。[季]夏。

■ハイビスカス通り

室戸市街地から、岬へと続く国道 55 号沿いには、1.1km に渡って、約 7500 本のハイビスカスが植えられています。開花の時期は 6～11 月と長く、鮮やかな緑の中に咲く真っ赤な花と、青い海や澄んだ空とのコントラストが、南国気分を盛り上げる絶好のツーリングコースになっています。

■地層

室戸岬周辺には、標高 150m 以上の高さに最終間氷期(酸素同位体ステージ 5.5)の海成段丘が分布しており、日本でも有数の高さである。その原因は室戸半島の地殻変動、すなわち南海地震に伴う隆起が繰り返し起こっていることに由来すると考えられている。

[室戸市行当岬からみる海成段丘]

[四万十累層群の砂泥互層]

[四万十累層群の砂泥互層を貫く砕屑岩脈]

■しおぎく

キク科の一種で室戸岬先端部はシオギクの群生地として貴重な地域である。(国内はもとより世界でも高知県東部と徳島県南部のみ)近年、ノジギクとの交配により交雑種が見受けられ絶滅の危機的状況にある。